

相模湾オープンヨットレース 2025

Sagamiwan Open Yacht Race 2025

帆走指示書

<http://sagamiwan.seabornia.org>

[NP]の表記は、艇は、他艇の規則違反に対し抗議の根拠とならないことを意味する。これは、規則 60.1(a)を変更している。

[DP]の表記は、その規則の違反に対するペナルティをプロテスト委員会が 裁量により失格より軽減することができることを意味する。 RRS 第2章以外の軽微な規則違反またはプロテスト委員会を納得させる事由がある規則違反も該当する。

[SP]の表記は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティを課せる規則を意味する。

レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティが決定する。

1. 適用規則

レース公示に記載の通り。

2. 参加者への通告

- a) 競技者への通告は大会公式ホームページに掲載される。
- b) 帆走指示書の変更は、大会公式ホームページにスタート予定時刻の2時間前までに掲載する。海上で帆走指示書を変更する場合は本部艇より海上確認時に口頭で通告される。(RRS90.2 C 適用)
- c) 荒天による中止の場合は、大会公式ホームページにて通知する。
当日陸上で中止を決定場合は 08 : 45 までに大会公式ホームページに掲載する。
前日に中止を決定する場合は、18 : 00 までに大会公式ホームページに掲載する。
- d) 海上集合後において中止する場合は本部艇に N/A 旗（スタート前の場合は AP/A 旗）を掲揚する。サービスとして運営艇より口頭で告知することも有る。

3. 出艇申告書の提出 [SP]

a) 出艇申告書兼乗員登録書は7月15日（火）～20（日）08：00までに sagamiwan@seabornia.org 宛てにメールで送付すること。

c) 出艇申告をしたにもかかわらずスタートしなかった艇は、その艇の責任者が速やかにレース本部に連絡すること。（電話または直接口頭可）

4. 海上確認 [SP]

レース艇は10：30までにL旗を掲げた本部艇の後方を自艇の右舷を本部艇に見せて確認を受けなければならない。確認時には必ずセイルナンバー或いはリコールナンバーを表示すること。（安全を厳守すること）

5. ライフジャケットの着用 [DP]

参加艇の全乗員は出発から帰着までの間ライフジャケットを着用していなければならない。

☆着用する全てのライフジャケットは事前に点検をすること。

☆JSAFに未登録の艇は国土交通省認可TYPE-Aのライフジャケットを着用すること。（ウェストベルトタイプは不可とする）

6. レース艇の識別 [DP] [NP]

a) 配布されるレース旗兼クラス旗をバックステーやポールなど、スターン付近のデッキより上方の目立つ位置に掲揚しなければならない。

b) 各クラス旗の色は以下とする。

シーボニア A クラス：スカイブルー

シーボニア B クラス：グリーン

IRC クラス：ピンク

ORC クラス：パープル

クラシッククラス：グレー

（スカイブルーもしくはグリーンのクラス旗の下に掲揚。

スタート時のクラス旗としては掲揚されない）

c) セイルナンバーの無い艇はレース実行委員会支給のリコールナンバーをマストより前方のライフラインに掲示しなければならない。

d) セイルナンバーとリコールナンバーの両方を掲示してはならない。そのようなセイルを使用する場合は明確に取消線などを表示する事。

7. レース日程

2025年7月20日（日）

10：45 第1グループ（シーボニア A クラス）の予告信号

第 2 グループ（IRC、ORC クラス）のスタートは第 1 グループの概ね 10 分後。

第 3 グループ（シーボニア B クラス）のスタートは第 2 グループの概ね 10 分後。

* 第 1 グループ（シーボニア A クラス）には JSAF レース旗を掲げた小網代フリートレース（KFR）参加艇も一緒にスタートし、同一コースを帆走する。

8. コース

第 1 グループ（シーボニア A クラス）及び第 2 グループ（IRC・ORC）
網代崎灯浮標（赤白ブイ）付近スタート→長者ヶ崎沖マーク（反時計回り）→網代崎灯浮標（赤白ブイ）付近フィニッシュ（約 8 マイル）

第 3 グループ（シーボニア B クラス）

網代崎灯浮標（赤白ブイ）付近スタート→秋谷沖マーク（反時計回り）→網代崎灯浮標（赤白ブイ）付近フィニッシュ（約 6 マイル）

【参考】

長者ヶ崎沖マーク：北緯 35 度 13 分 58 秒 東経 139 度 33 分 23 秒付近
秋谷沖マーク：北緯 35 度 12 分 20 秒 東経 139 度 33 分 44 秒付近

9. マーク

リミットマークと長者ヶ崎沖マークはイエローのブイを使用する。
秋谷沖マークはイエローのブイに白帯を巻いたブイを使用する。

10. スタートライン

スタートラインは本部艇の SYC クラブ旗を掲揚したポールとリミットマークの見通し線とする。

最後のスタートの 10 分後にスタートラインは撤去される。

スタートラインが撤去される前にスタートできなかった艇は審問なしに DNS とされる。

11. フィニッシュライン

フィニッシュラインは本部艇または公式運営艇のブルー旗掲揚のポールとマークの間とする。

12. スタート方法 [DP]

- a) RRS 規則 26 に従って行われる。

＜以下参考＞

予告信号（5 分前）：クラス旗掲揚	音響信号 1 声
準備信号（4 分前）：規定のフラッグ掲揚	音響信号 1 声
1 分信号（1 分前）：規定のフラッグ降下	長声 1 声
スタート	：クラス旗降下

- b) 予告信号の発せられていないクラスの艇はスタートエリアから離れ、予告信号の発せられているクラスの艇を避けなければならない。

＜参考＞

I 旗が準備信号として掲揚された場合は RRS 規則 30.1（I 旗規則）を適用する。

スタート信号前の 1 分間に艇体の一部がスタートライン、またはそのどちらかの延長線のコースサイドにある場合には、その艇はスタートする前にスタートラインの延長線を横切りプレ・スタートサイドまで帆走しなければならない。

13. 個別のリコール

- a) 個別のリコール艇があった場合は、音響信号 1 声とともに X 旗を掲揚する。X 旗はリコール艇のすべてがスタートラインの延長線のプレスタートサイドに完全に入るまで、またはスタート信号の 4 分後までの早い方まで掲げられる。
リミットマーク付近の公式運営艇においても同じ信号を発する予定だが、本部艇により発せられる信号を正規のものとする。
- b) RRS29.1 の違反については、OCS に代わる罰則として 5% のタイムペナルティーが課せられる。

14. ゼネラルリコール（RRS 規則 29.2 の変更）

ゼネラルリコールの場合は音響信号連発とともに第 1 代表旗を掲揚する（サービスとして公式運営艇からも信号を発する予定であるが、本部艇の信号が正規の信号である）

第 1 代表旗はスタート 4 分後まで掲揚される。

ゼネラルリコールになったクラスの新たなスタート予告信号は、第 1 代表旗降下の 1 分後に発せられる。

その他のクラスのスタートは順次繰り下げる。

15. コースの短縮

- a) コースの短縮は回航マークで行われる。本部艇または公式運営艇に S 旗を掲げ、音響信号 2 声を発する。
本部艇または公式運営艇の S 旗を掲げたポールと回航マークの間をフィニッシュラインとする。
- b) S 旗と同時にクラス旗が掲揚された場合は、該当クラスのみがコースが短縮される。
- c) コース短縮の公式運営艇は錨泊していない場合もある。

16. タイムリミット

全艇 15 : 30 とする。15 : 30 までにフィニッシュしなかった艇は、審問なしに DNF とされる。

17. 帰着申告 [DP]

フィニッシュをもって帰着申告とする。

スタートしたにもかかわらずフィニッシュしなかった艇は、速やかにその艇の責任者がレース本部に連絡すること。

☆海上にて無風・微風以外の理由でレースが中止または延期になった場合、各艇は帰港後速やかにレース本部に帰着申告をしなければならない。シーボニア以外に帰港した艇は電話でも受け付ける。
艇名、連絡者名、乗員・艇体等の状況を報告すること。(厳守)

18. 無線通信

運営には国際 VHF72ch を使用する。聴取することを制限しないが
非常時以外はレース艇から公式運営艇への連絡には使用しないこと。
(レース本部への電話を使用)

19. レースの成立

各クラスのトップ艇のフィニッシュをもって成立とする。

20. ペナルティ方式

RRS 第 2 章及び RRS 31 の規則違反については RRS 44.1、44.2 を適用する(回転ペナルティ)。その他の違反についてはタイムペナルティ方式とし、審問の結果所要時間に加算して修正時間を算出する。

21. 抗議（救済の要求）

- a) 抗議（救済の要求）は RRS 60（RRS 61）に従い、かつ、フィニッシュ後速やかにフィニッシュの運営艇にその意思を伝えなければならない。（これは RRS 60.2 を変更している）
抗議書はレース本部にクラス最終艇のフィニッシュ後 90 分以内に提出しなければならない。
- b) 審問の開始時間及び場所は公式ホームページに掲載し、関係者に通告される。抗議者、被抗議者及び証人は出席しなければならない。

22. 成績の算出

- a) シーボニア A 及び B クラス
レース委員会の設定した TMF により、タイム・オン・タイム方式で修正時間を算出する。
- a-2) クラシックボートクラスはシーボニアクラスとして計算し、シーボニア A 及び B クラスと重複受賞することができる。
- b) IRC クラス
TCC によるタイム・オン・タイム方式で修正時間を算出する。
- c) ORC クラス
シングルナンバー オールパーパスによるタイム・オン・タイムで修正時間を算出する。
- d) 修正時間は秒単位までとし、同タイムであった場合は TMF、TCC 値が小さい艇を上位とする。TMF、TCC 値も同じ場合は同順位とする。
- e) ハンディキャップは大会公式ホームページに発表する。
明らかな艇種の混同などを除き、ハンディキャップに対する救済の要求は認めない。

23. 大会関係運営艇の識別

本部艇：シーボニアヨットクラブ旗＋JSAF 旗
公式運営艇：シーボニアヨットクラブサブ旗

24. 責任の所在

レース参加艇の乗員及び艇体の安全もしくは事故（死亡、傷害、沈没、損傷など）については、その責任は全てレース参加艇が負うものとし、主催者並びに大会関係諸団体は、その責任を一切負わない。

25. 環境責任 [DP]

参加者はスピネーカーをまとめるゴムや毛糸などを含めてゴミを海上に投棄してはならない。(RRS 47)

26. 安全規定（他船について）[DP]

レース海面並びに付近で操業中の漁船、遊漁船には十分注意し、付近を通過する際は十分な距離を空けること。

27. メディア、画像及び音声

参加者は無償で主催者と大会スポンサーに、陸上または海上で撮られたレースに関する画像、映像、音声及びその複製品を、その裁量で永久に作成、使用、公開する権利を自動的に与える。

＜レース本部＞

〒238-0225 三浦市小網代 1286

シーボニアヨットクラブ事務局(ハーバー事務所隣り)

TEL 046—882—1979

TEL 090—8317—2942（実行委員長 平松）

＜大会ホームページ＞

<http://sagamiwan.seabornia.org>

＜大会メールアドレス＞

sagamiwan@seabornia.org

＜緊急用本部艇電話番号＞

TEL 080—1240—3638（レース委員長 荒嶋）

*** 緊急時以外はレース本部に連絡してください**